



運のいい子に育てる

松下幸之助氏は、採用試験の最終面接に面接官として立ち会っていました。

必ず「あんさんは、運がよろしいですか。」と質問していました。皆さんならどのように応えられますか。

「あまりいい方ではありません。」「特にいいと感じたことはありません。」などと応えるのではないのでしょうか。このように応えてしまうと、不合格になります。松下氏は、自分は運がいい人と思えるポジティブな人を採用したいと思っていたからです。

実際に運がよくなるにはどうすればいいのでしょうか。花巻東高校硬式野球部監督の佐々木洋氏のインタビュー記事にヒントといえるような内容がありました。花巻東の佐々木監督と言えば、菊地雄星選手、大谷翔平選手を育てた名監督です。

佐々木氏は4つポイントを挙げていました。

1つ目は、言葉をコントロールするということです。日本には「言霊」という考えがあります。言葉にしたことが、現実になるという考えです。マイナスな言葉を使っていると、運も逃げていくのでしょうね。

2つ目が、一緒にいる人を選ぶということです。佐々木氏は、親は選べないが友人は選べる。自分の意志で誰にでも会いに行き行って刺激を受けることができる。昔から朱に交われば赤になると言います。どのような人物と付き合うかで運が変わるのです。



3つ目が、表情、態度、姿勢、身だしなみに気をつける気をつけることだそうです。佐々木氏は、「このことは2つ目にも通じますがチャラチャラした格好をした子はやはり同じような子と一緒にいます」と言います。

4つ目は、感謝と謙虚さだと言います。佐々木氏は、やっぱり感謝と謙虚さだと言います。敵を作ることなく、多くの味方を作ることが運を呼び込むと言い切ります。

菊地選手は、ごみが落ちているのを見ると「神様が自分を試している」と話していたそうです。いつでも、どこでも、神様が見ていると考えて行動するところに運気を上げる秘密があるような気がします。

周りの大人が運のよくなる生き方を子ども達に見せることで、子ども達も自然に運がよくなる生き方をします。わが子の運気を上げるためにも、4つのポイントを意識してみてください。